



2019年度平泉町成人式

大人への一歩 新成人が誓い新たに

平泉町の2019年度成人式(町、町教育委員会主催)が8月15日に平泉ホテル武蔵坊で開催され、対象者の78%となる59人が出席しました。

人生の節目を迎え、大人への一歩を踏み出した新成人たちの表情や思いを紹介します。



新成人を代表してあいさつする
実行委員長の菅原大誠さん

8月15日、平泉ホテル武蔵坊で成人式が開かれ、町内の新成人76人(1998年4月2日から99年4月1日までに生まれた町在住者、平泉中学校と二関第一高等学校附属中学校の卒業生)の門出を祝いました。

式典には真新しいスーツや華やかなドレスに身を包んだ初々しい男女、合わせて59人が出席。会場では久しぶりに再会した友人と記念写真を撮ったり、近況を報告し合ったりする人たちがあふれ、立派に成長したわが子の姿に目を細める保護者も多く見られました。

式典の中で青木町長は「平泉で生まれ育ったことに誇りを持ち、これからの社会を支え新たな歴史を創り上げていくことを心から期待する」と語り、来賓を代表して佐藤孝悟町議会議長が「郷土愛をはじめ誇りと責任を持ち、明日の社会を明るくする原動力になってほしい」と祝辞を寄せました。また新成人を代表して実行委員長の菅原大誠さん(10区)が「平泉で育まれたことに誇りを持ち、一人の人間として社会に貢献したい」と成人としての決意を述べました。

式典終了後のアトラクションでは、小・中学校時代の恩師が懐かしい思い出話を交えながら、成長した教え子たちに励ましの言葉などを贈りました。



二十歳の思い

町の将来を担う新成人たちにインタビューしました。



石川 歩さん(10区)

親に感謝して、今後はいろいろな形で恩返しをしていきたいと思っています。



佐々木七海さん(10区)

20年間育ててくれた親に感謝して、今後は親孝行を頑張っていきたいです。



千葉大夢さん(11区)

二十歳になったので自立して、自分の目標に向かって頑張りたいです。